

IoT時代のモヤモヤを自宅で解消

メカニズム丸見え! ラズパイ AIサーバを作る

第10回 My イベント処理プログラムの作り方

ご購入はこちら

土屋 健

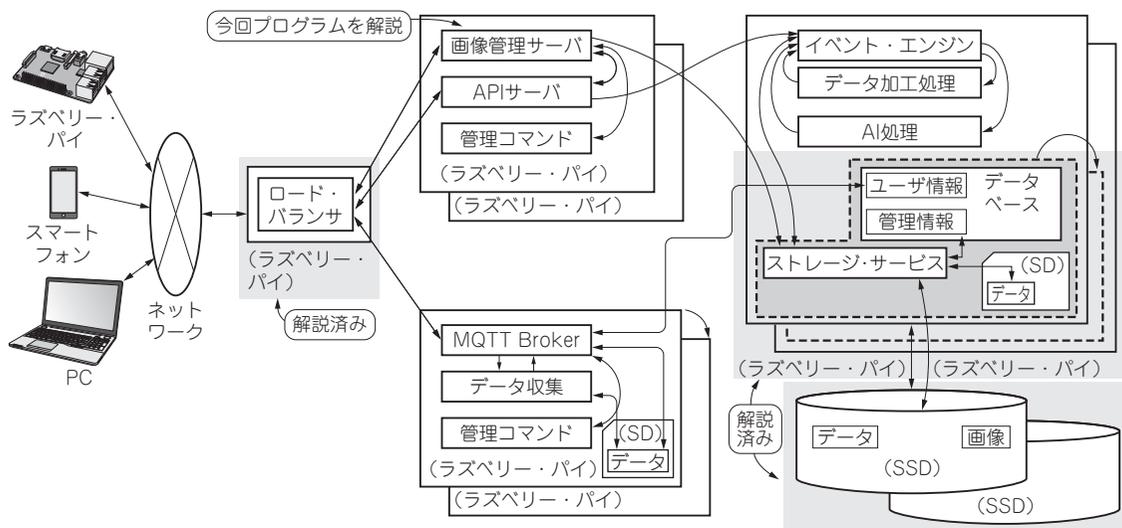


図1 今回は My サーバとしての処理を自動実行する My イベント・エンジン・プログラムの作り方を解説
連載で作り上げる AI 搭載 My サーバの構成

● My サーバに組み込んだ My イベント処理の全体像

前回(第9回, 2017年12月号)では, My サーバのストレージ・サービス部にイベント処理を組み込みました。これによってファイルを保存した際に, ファイルに対する操作を自動的に行えるようになりました。例として保存した写真を撮影日によって自動的にフォルダ分けする機能を実現しました。今回は My サーバとしての処理を自動実行する My イベント・エンジンのプログラムを解説します。連載で作り上げる AI 搭載 My サーバの構成を図1に示します。

前回は自動処理を実現するために, My サーバに以下の修正を行いました。

- ストレージ・サービスへのイベント通知機能の追加
- ストレージ・サービスへのファイル・リネーム処理の追加
- イベント処理の追加
- イベント処理から呼び出されるアクションの追加

図2に連載で紹介している My サーバのファイル構

成と, 今回変更または追加となった部分を示します。(1)~(6)で示す部分が該当します。

(1) 設定ファイルへの項目追加

ストレージ・サービスの設定ファイルにファイル操作とイベント処理プログラムの対応を設定するための events の定義を追加します(表1)。

events 要素に, イベント対象となるストレージ・サービスの操作と実行されるプログラムのペアを配列で指定します。

"action" は, "create" または "delete" が指定可能です。

"prog" で実行プログラムを MyServer ディレクトリからの相対パスで指定します。

この設定でファイル保存や削除が完了したタイミングで指定されたプログラムが実行され, 任意の後処理を行えるようになります。